

郵便はがき

料金別納郵便
議会改革

□□□□□□□□

— 市政のご相談はお気軽に —

池田りんたろう事務所 〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1丁目6番
電話 078-982-1177 FAX 078-981-1801
立憲民主党神戸市会議員団 電話 078-322-5844 FAX 078-322-6161

神戸市議員 子どもたちの未来と明日の北区のために

池田りんたろう 市会ニュース

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844

総務財政委員会に所属 六月議会が閉会

令和三年第一回定例会市会六月議会は、約七〇億円の補正予算をはじめ、税関前歩道橋架替工事請負契約締結のほか、一五議案を可決するとともに、各種委員会委員の選任を行い、六月二十八日に閉会いたしました。

補正予算の概要は次の通りです。

一、**新型コロナウイルス感染症対策**
ワクチン接種体制の拡充、医療提供体制の安定的確保、高齢者及び障害児・者施設のPCR定期検査、入院調整中患者・自宅療養者への支援事業。

二、**生活困窮者対策**
子育て世帯緊急雇用対策支援、コロナ離職者に対する介護業界への参入促進事業、ひとり親家庭の自立支援、コロナ禍で困難

を抱える女性に対する相談支援。

三、**文化芸術・市民活動支援**

KOBEアート緊急支援事業
withコロナにおける野外活動支援。

四、**市内事業者支援**

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の支給（県市協議事業）。

七月からの所属委員会等

- 総務財政委員会委員
- 阪神水道企業団議会議員
- 神戸三田都市行政協議会委員

立憲民主党

神戸市議員団の役員

- | | |
|---------|---------|
| 団長 | 池田りんたろう |
| 幹事 | よこはた 和幸 |
| 政務調査会長 | たなびき 剛 |
| 副政務調査会長 | やの こうじ |

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市議員
(東灘区選出)

やの こうじ

編集・発行：立憲民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL：078-322-5844
FAX：078-322-6161



神戸市議員となり3年目を迎えました。コロナ禍の中、ワクチン接種や時短営業の件など、みなさまからの様々なお声に対して、迅速に対応できるように日々努めているところです。安全・安心な暮らしを守るために、今後も引き続き、市民のみなさまの願いを、1つでも多く神戸市政に反映できるように、誠実に取り組んでまいります。

今年度の主な役職

常任委員会・・・経済港湾委員会

(観光、商工業、農漁業、港、空港、文化、スポーツなどに関する事)

特別委員会・・・未来都市創造に関する特別委員会：理事

(新たな時代の神戸のまちづくりに関すること)

立憲民主党神戸市議員団 副政務調査会長



妊産婦の移動支援が恒常的な制度に



妊産婦の移動に伴う心身の負担軽減や、安心・安全な出産と産後の母親支援のために、今年の1月4日にさかのぼって妊娠の届け出をされた方に、「1人5,000円」のタクシー利用券の交付が決定。併せて、利用できるタクシー会社の拡充も実現しました。

学校生活のルールやきまり(校則など)に関するガイドラインを策定

神戸市立の各学校が、学校生活の決まりを見直す指針となるガイドラインが、遂に策定されました。今後は、このガイドラインに基づき、各校において校則の毎年見直しが行われることになりました。



ワクチン関連情報



新型コロナウイルス関連情報



郵便はがき



料金別納郵便

教育
子育て
福祉 改革

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市議員(東灘区選出)

やの こうじ

市政のご相談・問い合わせ先

〒658-0054 神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207

TEL・FAX (078) 841-2255

✉ yano.koji2018@gmail.com

つなぐ
「繋」 ささえあい
すべての世代を「つなぐ」やさしい街に！

編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

神戸市会議員 (垂水区) たなびき剛

掲載内容のさらに詳しい内容は
立憲民主党神戸市会議員団の
ホームページをご覧ください→



たなびき剛事務所：〒655-0048 神戸市垂水区西舞子 9-15-23 TEL:080-6111-9970 ✉ tanatsuyo02@gmail.com

令和3年第1回定例会市会6月議会が開催されました

令和3年度第1回定例会市会6月議会が開催され、神戸市一般会計補正予算等が議決されました。今年度は、「教育こども委員会」、「外郭団体に関する特別委員会」に所属となり、神戸市会議員として3年目を迎えました。1日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、安全・安心に暮らせる神戸市となるよう全力を尽くしてまいります。



令和2年第1回定例会市会6月議会では、立憲民主党議員団を代表し、一般質問を行いました。

1. こども・若者ケアラーについて

〔神戸市では、18歳未満の子どもたちだけでなく、20歳代の方も含め「こども・若者ケアラー」と呼び、令和3年6月より専門の窓口を設置し対応を行っています。〕

質 小中学生の頃からケアを担っているこどもも多く、こども・若者ケアラーであることを自分で認識するのは難しいことが指摘されていることから、生徒児童一人ひとりへハンドブックを作成するなど、こどもたちに情報を届ける工夫が必要では？

答 こども・若者ケアラーの職員やさまざまな関係者の意見を聞きながら、当事者に届くような支援の在り方を考えていきたい。

質 神戸市として、具体的な支援方法の検討につなげるため、独自の実態調査を実施しては？

答 9月初旬に市立学校の5年生、中学2年生を対象に実施する予定の「こどもの生活状況に関する実態調査」の中で、こども・若者ケアラーに関する項目を含め、今後の分析を行う。

こども・若者ケアラー（ヤングケアラー）とは

「ヤングケアラー」とは、障がいや病気のある家族、幼いきょうだいなど、ケアを必要とする人がいるために、「本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことです。

一般的に「ヤングケアラー」は18歳未満の子どものみを想定していますが、神戸市では、就学前児童から20代の方を「こども・若者ケアラー」として、支援しています。

こども・若者ケアラー相談・支援窓口

場 所 神戸市立総合福祉センター1階
開所時間 月曜～金曜：9時～17時（土日祝、年末年始を除く）
電話番号 078-361-7600
メールアドレス carer_shien@office.city.kobe.lg.jp



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

© 一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga

2. こどもたちの学校生活について

質 コロナ禍で様々な学校行事が中止や延期となっている。こどもたちの成長のためには、各種行事は有意義な活動である。今後は、感染対策を徹底した上で再開を検討しては？

答 宿泊を伴う学校行事については、中止ではなく可能な限り延期する。また、宿泊を伴わない校外学習や音楽会、文化祭などの文化的行事については、感染防止対策を徹底した上で実施する。今後も感染状況等の変化をよく見極めながら対応していく。

3. 災害時における宿泊費の助成について

質 神戸市では、大雨・台風災害の発生に備え、妊産婦等が市内の宿泊施設に避難する場合に宿泊費を助成する制度を整えている。近年の豪雨災害は高齢者に被害が多いことから、災害対策に十分な支援が必要である。今後は、高齢者や要介護者の方も対象とするなど、さらなる制度の拡充を検討すべきでは？



答 今後、この制度の適用事案が発生すれば、状況に併せて検討し、制度の在り方や他都市の状況も見ながら検討する。

4. 選挙の投票率の向上について

質 期日前投票の利用者が増加傾向にある。地域住民の利便性を考慮し、神戸市内全区において、複数の場所に期日前投票所を設置すべきでは？

答 期日前投票所の増設については、中央区、長田区に1カ所ずつ増設し、複数カ所となったが、東灘区、灘区においては区役所の1カ所のみである。投票環境の整備については、重要であると認識しているので、引き続き調査検討を行う。

5. 多聞台地区の活性化について

質 平成26年に多聞台団地再生協議会を立ち上げ、活性化に取り組んでいるが、これまでの成果と今後の方針は？

答 平成29年度にNPO法人ワトワーズ多聞台が設立され、地域の活性化や生活支援機能の向上に向けた取り組みが進められ、地域交流の場となる多聞センターカフェの運営などが行われた。また、センターゾーンはオープンスペースの多くが道路や公園の区域に指定されているため、法令等の制限も踏まえ地域にとってより良い空間となるよう検討を進めている。今後も、地域との連携を深めながら多聞台地区の団地再生に取り組んでいきたい。



多聞台のバスターミナル

質 多聞台中央公園の周辺には、駐車場がなく地域からは駐車場の整備が求められているが、どのように考えているのか？

答 地域住民からもセンターゾーンの活性化のために必要な機能として駐車場整備の要望を受けている状況である。現在は、管理方法なども含めどのように駐車場を整備すればいいのか、整備に向けた検討を進めている。

6. 青陽西養護学校跡地利用について

質 閉校から4年が経過したが、跡地活用の方針は未定である。地域の意向も反映しながら、適切な活用に向け速やかに取り組むべきでは？

答 青陽西養護学校の跡地は、周辺道路への接続部が北東側の一部に限られ、不特定多数の人物が出入りする施設を設置すると、隣接する西舞子小学校、舞子中学校の児童生徒の安全に支障が生じることが最大の課題である。また、設置できる建築物の用途も限られており、今のところ優位な活用方策が見つからない。今後とも早期に利活用が示せるよう、関係部局とともにさらに検討を深めたい。



速やかな跡地活用を求める

ワクチン接種に関する相談窓口

神戸市における 新型コロナワクチン接種に関すること

神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター

電話 **078-277-3320**

受付時間 平日 8:30~20:00 土日祝 8:30~17:30

受付
内容

- ・接種可能な市内医療機関の紹介
- ・集団接種の会場、予約方法の案内
- ・接種券が届かない、再発行などの問い合わせ

電話での問い合わせが困難な人は

(メール) pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp



詳しくは
神戸市HP



OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員 **中央区**

かずゆき **よこはた和幸**

編集・発行 立憲民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

立憲民主党神戸市会議員団
NEWS No.10

令和3年第2回定例市会(決算議会)

新型コロナウイルス第6派に備え、医療供給体制を確保！

若い世代へのワクチン供給を急ぎます

8月31日から10月8日まで決算議会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の第5派が猛威を振るう中での議会です。コロナ対策としては、神戸で医療崩壊をさせてはならないとの強い気持ちで医療提供体制の確保、カクテル療法など治療体制の推進をしてきました。若い世代へのワクチン供給を急ぐべく邁進しております。



まずはコロナの終息に全力を投入します。補正予算を組んで臨時議会を招集しても神戸市民の命を守っていきたい。また、コロナ禍でも防災、教育、保育など必要な予算はしっかり充当すべきと提案しました。私は、危機管理室・消防局・水道局・建設局の質疑を担当しました。

ワクチン接種の状況 (9月21日現在)

1回目 66.1% (兵庫61.6%、全国61.0%)
2回目 54.2% (兵庫50.4%、全国50.0%)
早急に若い世代で希望される方への接種体制を整えます。

ワクチン相談窓口

こども向け専用窓口 **277-3324**
(毎日9時～17時) 看護師や保健師が担当します

異物混入専門窓口 **771-9400**
(平日8時30分～20時)
(休日8時30分～17時30分)

配慮が必要な方のための専用窓口
277-3327
(受付時間は異物窓口と同様)

コロナワクチン予約コールセンター
277-3320

医療等提供体制 (9月26日現在)

- 新型コロナウイルス患者受け入れ病床 (中等症以下147名、重症10名)
中央市民病院、西市民病院など334床確保をしており、上積みのために民間病院の弾力的な運用をお願いしているところです。
- 宿泊施設 (218名使用)
ニチイ学館100室、東横INN198室、サンルートソプラ138室、ポートタワーホテル148室
- 自宅療養 (673件) の体制強化
無症状、軽症の方を自宅療養していただいています。パルスオキシメーターや10日分の食糧支援をしています。また、急変に備えて、健康観察チャットサービスで健康確認を行い、必要に応じて医師の訪問もしています。24時間、保健センターで連絡も受け付けています。

抗体カクテル療法

ニチイ学館において中央市民病院の協力のもと、ロアリーブの抗体カクテル療法を行っています。軽症・中等症1以下の方で医師の判断による方だけですが、重症化を防ぐ療法としてさらに加速させていきたいものです。



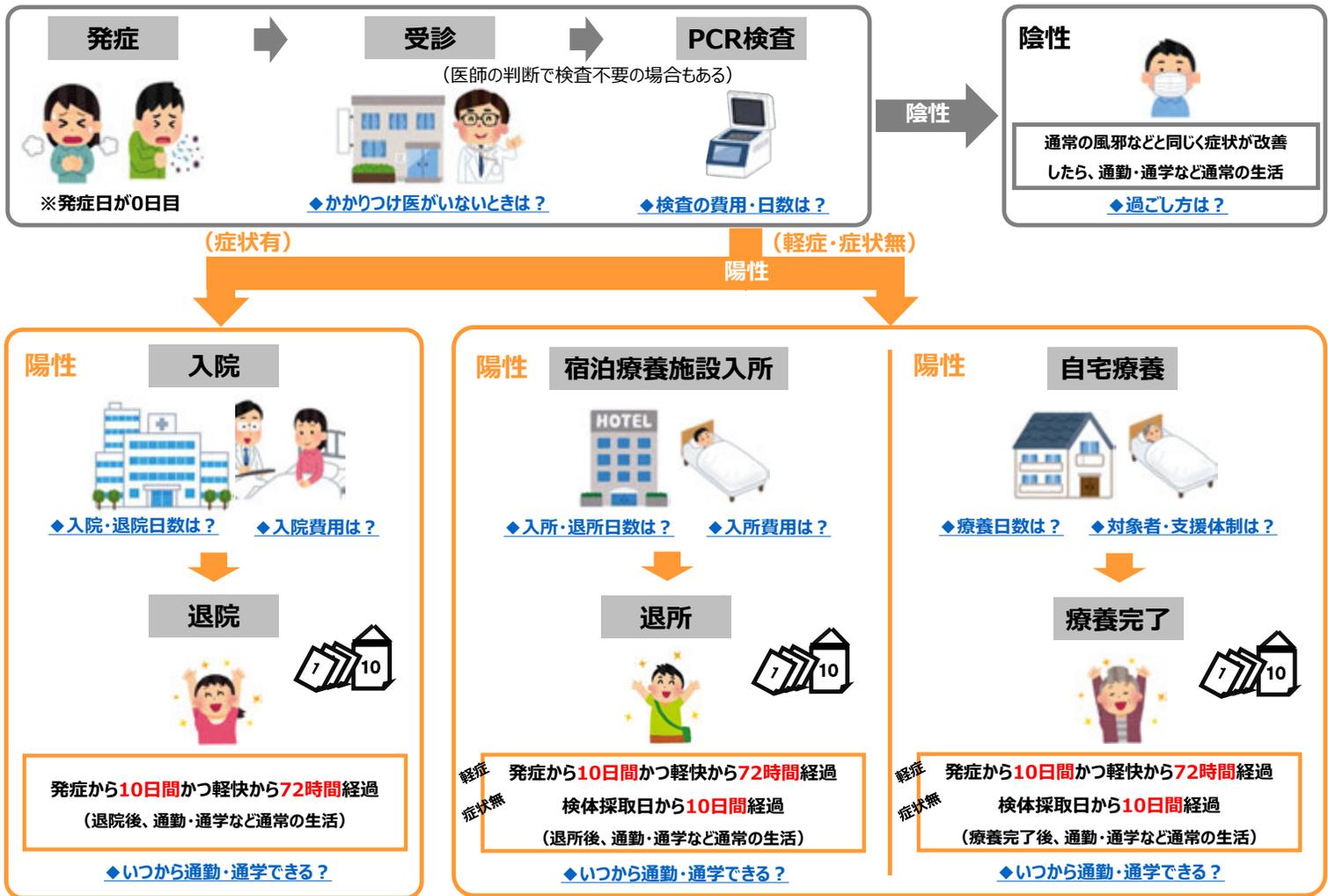
新型コロナウイルス感染症のフローチャート

(発熱・咳などの症状があり、医療機関を受診したいとき)



神戸市ホームページ
QRコード

症状があり不安な時は、まずはフローチャートでご確認ください。
さらに詳しくは、各相談窓口、医療機関でご確認ください。



決算特別委員会での審議

危機管理室・消防局 9月8日

防災庁の設置について

Q 東京一極集中是正のためにも神戸に防災庁の誘致をすべき。

A 国へも要望していきたい。関西広域連合とも協力していきたい。

他、自衛隊との連携、防災ヘリについて

水道局 9月15日

こども達への水教育について

Q 水の科学博物館が廃止となったが、こども達の社会教育のための見学はもうけるべき。

A 小学校4年を対象にできる限り考えていきたい。

他、組織の再編、起債の発行について

建設局 9月17日

神戸駅前再整備について

Q 神戸駅の再整備は必要で、さらに元町・大倉山公園・新開地の回遊性を持たせるべく、大きな視点でやっていくべき。

A これから基本設計に入り、ご指摘の通り考えていく。

Q 東川崎町・神戸駅周辺の浸水対策：現在緊急対応として仮設ポンプ場など対応しているが、恒久的な対策を急いでもらいたい。

A 令和7年工期終了から令和6年に急いでやっている。さらに工期短縮を検討していきたい。

他、公園遊具の点検、バイオマストイレの導入、浸水対策について

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市会議員 (東灘区選出) **やのこうじ**

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市会議員団ホームページ▶http://rikken-kobe.jp/



編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和3年 第2回定例市会【9月議会】開催 日程（8月31日～10月8日）

9月議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制の安定的確保や、コロナ禍に直面する市民・市内事業者への対応にかかる補正予算（130億4.800万円）等が議決されました。

コロナ禍が依然として引き続いていますが、市民のみなさまの安全と安心につなげていけるように、意見反映に努めて参ります。

代表質疑（9月7日）

本会議で会派の代表質疑を務め、市長、副市長、教育長から見解を伺いました。



代表質疑の様子

1. 新型コロナウイルスワクチン接種について

質疑 神戸市の「ワクチン予約空き状況」をタイムリーに更新すれば、若者への接種がより進むのではないかと。

答弁 キャンセルの空きを有効に活用していくことは、非常に大事である。技術的なこともあるが検討していきたい。

要望

こども健康相談窓口が設置されたが、今後相談が増えるようなら、対応者の増員をしていただきたい。



こども健康相談窓口
(多言語対応)
078-277-3324 9:00～17:00 (土日祝含む)

◆9月14日から「若年層向け優先予約枠」が新設!!

- 対象：16～39歳までの市民、市内在勤・在学者の方
- 予約枠：200人/日（ノエビアスタジアム神戸）

神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター

ワクチンの接種が可能な市内医療機関の紹介や集団接種の予約方法の案内、接種券の再発行などの問い合わせを受け付けています。

受付時間：8時30分～20時00分（平日）
8時30分～17時30分（土日祝）

電話番号：078-277-3320



ワクチン接種

★耳や言葉の不自由な方の予約に関するご相談はこちらから
メールアドレス：pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp
F A X：050-3156-0729
(EメールやFAXでの予約は受け付けておりません)

2. こども・若者ケアラーへの支援について

質疑 相談窓口の設置から見てきた、今後の対応策についてどのように検討されているのか。

答弁 本人のケア状況を把握し、家族へのアプローチ、介護保険障害サービスの活用などの個別の調整を進めている。

要望 小学校でも多くの目で、こどもたちを見ていく視点が絶対に必要だと思う。未来を担うこどもたちが、家庭内のケアで若くして燃え尽きることがないようにお願いしたい。



ケアラー

こども・若者ケアラー（ヤングケアラー）とは

「ヤングケアラー」とは、障がいや病気のある家族、幼いきょうだいなど、ケアを必要とする人がいるために、「本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことです。

一般的に「ヤングケアラー」は18歳未満の子どもを想定していますが、神戸市では、就学前児童から20代の方を「こども・若者ケアラー」として、支援していきます。

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りを行っている

目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている

日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている

アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している

がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga

3. 多井畑西地区の活用について

質疑 豊かな自然環境を生かした、野外活動等が実施できる場を設けてはどうか。

答弁 地域団体、学校民間企業の意見を伺いながら、今後策定する将来像の実現に向けた取組を推進する。

要望 現在ハチ・ハチ北高原等へ野外活動で行っているが、こどもがケガや病気の際に、保護者の送り迎えを懸念している。神戸のこどもたちに役立つ施設設置の検討をお願いしたい。



多井畑西地区の将来像(案) 都市近郊でのアウトドア体験

4. ネット差別の解消に向けた取り組みについて

質疑 兵庫県や県内の29の市・町で、ネット上の悪質な書き込みを監視する「インターネット・モニタリング事業」に取り組んでいる。本市としても市民を守るために、大至急実施すべきでは。

答弁 他の自治体の取組も参考にしながら、効果的な対策について検討を行っていききたい。

要望 教育委員会は、ネットへの不適切な書込み等の対応を専門業者に依頼し「学校ネットパトロール」を、すでに実施している。神戸市としても、しっかり頑張っていたきたい。



令和3年 決算特別委員会 (9月7日～9月28日)

令和2年度の神戸市各会計決算を審議のうえ承認し閉会しました。私は、決算特別委員会の第3分科会において、「港湾局」「経済観光局」「文化スポーツ局」に対し質疑を行いました。質疑の様子は、記載のQRコードからご覧いただけます。

港湾局への質疑 (9月9日)



質疑の様子

1. カーボンニュートラルポートについて

質疑 神戸港でも積極的に、脱炭素化の取組を進めていくべきではないか。

答弁 技術開発やコスト面でも大きな課題はあるが、官民連携のもと港湾の脱炭素化に積極的に取組みたい。

要望 神戸港全体で陸電を進めることで、CO2の排出や給油の回数も減り、環境にも船の所有者にもやさしい取組を進めていただきたい。



新港第2突堤再開発(1万人規模の最先端アリーナ)

2. ウォーターフロントの再開発について

質疑 ウォーターフロントの夜間照明を、風力や太陽光発電などの自然エネルギーを活用してはどうか。

答弁 ウォーターフロントでの取組が、神戸全体をクリーンな町のブランドイメージとして発信できるように、積極的に事業者と共に進めていきたい。

要望 神戸の自然豊かな環境を生かして、循環型エネルギーの推進に努めていただきたい。



太陽光を活用した発電灯(新港第1突堤にて)

3. みなとHANABIと光のイベントの同時開催について

質疑 花火イベントの期間中に、光を使った夜間イベントを同時開催すれば、より多くの方に神戸の夜を、楽しんでもらえるのではないかと。【※10月の開催は延期決定】

答弁 感染防止対策や安全対策の面で難しい面もあるが、状況が落ち着いてきたらぜひ検討させていただきたい。

要望 花火の分散開催は、3密を防ぐ意味からも良い取組である。今後、県を越えて行き来できるようになった時に、神戸のまちを選んでもらえるよう頑張っていたきたい。

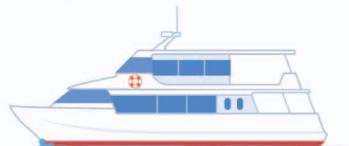


昨年の光のイベント「Global Rainbow」

4. 海事人材の育成について

質疑 こどもたちの乗船体験ができる機会を増やすことで、神戸港における将来的な海事人材の確保につながるのではないかと。

答弁 海事人材の育成確保は、非常に大切なことである。さらに体験機会を拡大していきたい。



みなとの学習の様子(遊覧船上のこどもたち)

5. 神戸空港の利用促進について

質疑 新型コロナウイルスの影響により、神戸空港の利用者が大きく減少している。利用者の回復には、まず空港に人が訪れる仕掛けが必要ではないか。

答弁 神戸空港が身近な場所と感じていただけるように、引き続き関西エアポート神戸と連携協力しながら、様々な事業を実施していきたい。

要望

2025大阪・関西万博も迫ってきている。プライベートジェットの誘致や、CIQ（税関、出入国管理、検疫）の早期設置など、空港の国際化に向けてがんばってほしい。



フライト前の各社の機体



質疑の様子

経済観光局への質疑（9月14日）

1. 中小企業の人材確保について

質疑 首都圏のみならず、全国各地方の学生を視野に入れたプロモーション活動を行うべきでは。

答弁 全国の学生を対象に神戸で働き、生活していただくことを発信しながら就職につなげていきたい。

要望 帰省がたやすい神戸空港からの就航都市への取組の強化もお願いしたい。



2. 駅ナカ・販売チャレンジパイロットショップの拡充について

質疑 若者へのチャンスを広げ、かつ駅の賑わいの創出のためにも、店舗数を増加し出店期間も延長すべきでは。

答弁 事業者のニーズや駅ごとの売上の傾向を分析し、事業者へのPRをし、出店を促進していきたい。

要望 今後の感染収束時を見据えた消費需要の喚起の一環として、近くにお店のない地域や団地へのキッチンカー事業の継続や、ダメージを受けている観光宿泊関連への支援もお願いしたい。



駅ナカマルシェのイメージ図 ©2021 Aya Arimura

◆10月7日の本会議で議決!!

- 前売り式プレミアム宿泊クーポン事業（第2弾）2億400万円
- 市民向けの宿泊クーポン（額面5000円を半額で販売：12万枚）を抽選販売

3. 神戸ブランドの発信力強化について

質疑 熊本県の「くまモン」のようなシンボルマークを作成し、市が認定した生産事業者が無料で使用できるようにすれば、神戸ブランドの更なる発信に繋がるのでは。

答弁 シンボルマークは、神戸製品の発信の1手法と考えている。業者の声を聞きながら、商品の認定方法も含めて研究していきたい。

提案 神戸の魅力は人である「BE KOBE」を取り入れた、購入者が心躍るようなデザインを!!

4. アーバンファーマリング（都市農業）について

質疑 「食都神戸」を世界に向けて発信するためにも、市内の各所に「食べられる果樹や野菜」の農園設置を、拡大展開してはどうか。



市内モデル農園 第1号のセラトンファーム（六甲アイランド）

答弁 モデルケースを増やし、アーバンファーマリングの楽しみ方を広く広報し、市民の関心や参加を高めていきたい。



再質疑 東遊園地のファーマーズマーケットを、全市で展開できれば、「食都神戸」を、市民によりいっそう浸透できるのではないかと。

答弁 新たなマーケットの開催を目指す団体が生まれるように、既存マーケットの情報発信や開催費用の補助による支援を行い、全市展開に向けて取組みたい。

要望 市民からの無農薬やオーガニック野菜へのこだわりの声も届いている。市場に流通しない規格外の新鮮な農産物が、無駄にならない取組もやっていただきたい。



ファーマーズマーケット（東遊園地）



質疑の様子

文化スポーツ局への質疑（9月15日）

1. 博物館における戦災関連資料の常設展示について

質疑 今後、戦後80年目を迎える節目として、戦災を知らない小学生などに、平和について学ぶ場として、いつでも足を運べば戦災を学ぶことができる場を設けてはどうか。

答弁 市立博物館の歴史展示室を活用し、展示の工夫や継続的な発信について考えていきたい。

要望 各図書館での持ち回りによる継続的な展示や、市民から寄贈された遺品を定期的に入れ替え、多くの方に見てもらえる常設について、引き続き検討を願いたい。



神戸市立中央図書館のロビーにて



2. 神戸文化ホールにおけるWEB配信サービスについて

質疑 WEB配信のニーズが、今後さらに高まると考えるが、どのように利用促進をしていくのか。

答弁 ホームページ等での周知徹底や、文化ホール職員のノウハウを高め、利用者へのアドバイスや紹介する形での利用促進につなげたい。

要望 小さいお子さんがいる方や身体が不自由な方、主催者側にも魅力的な取組であると聞いている。市内のどこのホールでもWEB配信ができる支援策を願いたい。

3. 学校園における文化芸術事業の振興について

質疑 次代を担う「若者に選ばれるまち」の実現に向けても、市内学校園の全ての子どもたちが、神戸文化ホールで行われた質の高い芸術文化の公演を、いつでも視聴できる仕組み作りができないか。

答弁 NHKの全国合唱音楽コンクールの課題曲を、混声合唱団のプロが歌ったものを4曲分配信し、合計で4万回以上の視聴をいただいた。

要望 神戸発の素晴らしい映像を見て、コロナ禍の子どもたちが、文化芸術に興味を持ち、将来の夢につながるような仕組み作りを願いたい。



神戸文化ホール



4. ストリートピアノの更なる拡充について

質疑 駅だけでなく、更に市内全域に設置し、こどもからご年配の方まで、自由に弾くことができる環境を広げてはどうか。

答弁 音の問題や環境面の問題はありますが、設置拡大に向けて、まちの賑わいやブランド化に寄与する活用策にも取り組みたい。

要望 コロナ禍で発表の場を失った若い世代の方たちの発表の場として、ストリートピアノを活用した場作りを、今後も願いたい。



旧居留地のストリートピアノ (三井住友銀行前)

5. 「こども本の森 神戸」の開館に向けた準備状況について

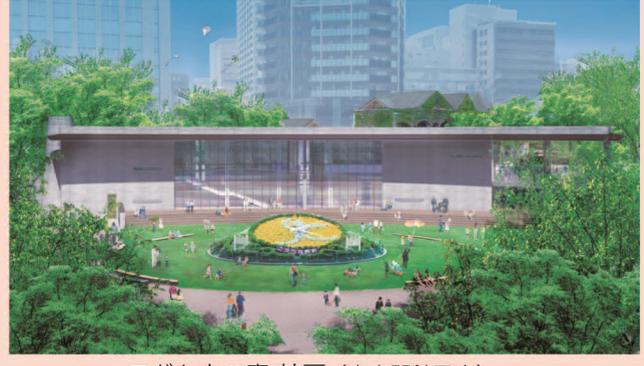
質疑 来春の開館に向けて、こどもがわくわくと楽しんで足を運べる場所となるよう、旧居留地やウォーターフロントなどの回遊性を高める取組をすべきでは。

答弁 ポートループ（接続バス）の新たなバス停の検討もされている。本の森と周辺施設をつなぐ乗り物の活用に取り組みたい。



三宮を走行中のポートループ（接続バス）

要望 乗り物好きな子どもたちが、「ポートループに乗って本の森へゴー」のようなイベントを是非とも願いたい。



こども本の森 神戸 (来春開館予定)

6. 六甲アイランドにおける図書館サービスの充実について

質疑 住民ボランティアが運営する「RICコミュニティライブラリー」と連携し、予約図書受取コーナーや返却ポストを新設するなど、サービスを充実できないか。

答弁 連携や継続的な運営スキームの構築が可能かどうか、引き続き地元との調整も含め検討したい。

要望 2万人が住む六甲アイランドには、本屋さんが1軒もない。今春オープンした「こべっこあそびひろば」には、絵本を80冊ほど置いてもらっている。引き続き住民の利便性のためにご検討願いたい。



「こべっこあそびひろば六甲アイランド」の絵本コーナー